

社会総ぐるみによる人づくりの「合言葉」

「育もう 地域の愛で 子どもの未来」～ 大人が子どもの手本となり、みんなで人間力を高めます ～

学校に子供たちの元気な声が戻ってきました。登校した子供たちの表情や会話から、楽しく充実した夏休みを過ごした様子がうかがえます。様々な体験を通して、心も体も一回り大きくなったようです。

いよいよ1学期のラストスパートです。そして2学期へ向けても元気にスタートを切ってほしいと思っています。合言葉「やさしく かしく たくましく 笑顔あふれる豊南小」を念頭において、子供たちが、目標達成に向けて充実した生活を送れるよう支援していきます。ご家庭でも、お子様の様子を見守っていただき、ご心配や気になることがありましたら、いつでも学校までご相談ください。

◇ 地域への貢献 ◇ — 5年生の特別支援学校訪問について —

前回の学校だよりで、5年生の「のざわ特別支援学校」訪問についてお知らせしました。今回、訪問を終えて子供たちが何を考えたのか、担任から振り返りの記録をいくつか見せてもらいましたので紹介します。

- ・手話で話す子がいて、「手話ってこんな感じなんだな」って考えました。
- ・めったに外に出られない子もいるので、ぼくたちと触れ合えるだけでとてもうれしいということが分かりました。ぼくたちの演奏を楽しんでくれてとてもうれしかったです。
- ・音楽を楽しんで聴いてもらえてうれしかったです。手をつないでお話をして楽しかったです。
- ・支援学校の子供たちは、ぼくたちのように楽しくやっていることや、ぼくたちのようにできないこともあることが分かりました。ぼくは、体がうまく動かせない人に優しく接していきたいです。
- ・このことを機に、色々な人たちと仲良く接していくことを大切にしていきたいです。
- ・体の不自由な人は車いすで移動していたので、市や町に体の不自由な人がいたら助けてあげたいと考えました。
- ・交流した生徒さんはしゃべることはしないけれど、すごく楽しんでくれているのが伝わりました。交流会のような人たちが困っていたときは、助けたり声を掛けたりしてみようと思いました。友達と助け合いをしたいと思いました。
- ・交流会では車いすを押したり手を握ったりして、とても楽しかったです。
- ・ダンスを恥ずかしがらずに一生懸命に頑張りました。支援学校の子たちの心に響いてくれるとうれしいな！自分の生活を当たり前だとは思わず、自分を支えている人に感謝しながら生活したいです。
- ・この世界には、たくさんの障害を抱えた人が何百、何千といるけれど、みんな同じで、努力をした分、それが恵まれることがたくさんあることが分かりました。自分が当たり前だと思っていることも、その子たちにとっては難しく、上手くできないことがあります。
- ・体が不自由な子も、毎日辛い思いをしているわけではなく、表現の仕方が少ないだけで、色々な人の支えがあって、毎日楽しく生活していることが分かりました。支援学校の人たちのおかげで、人には色々な感情の表し方があることが分かりました。だから、これからは、今までよりも相手の気持ちを考えて生活したいです。

ある担任の先生に、交流会当日までの学級の様子を聞くことができました。子供たちは、まず「交流会でしたいこと」について話し合ったとのこと。支援学校への事前の訪問を踏まえて、一人一人が気付いたことを出し合い、提案し、少しずつ形をつくり内容を充実させていったそうです。そこには「自分たちが楽しめることを」から「相手に楽しんでもらえることを」への意識の変容があります。主体的に創り上げる活動だからこそ充実感を味わえるのです。当日、子供たちは様々なことを学び感じることもできました。

さて、今回の交流会では、子供たちは、もうひとつ大切な役割を果たしていると考えます。それは「地域への貢献」です。日頃、登下校や読み聞かせ、学習、環境整備等、子供たちは地域の方々に見守られ、支援を受けて教育活動に取り組んでいます。それは「地域とともにある学校」として、地域の人材を育成する地域と学校が連携した協働的な活動です。のざわ特別支援学校は地域の学校です。そこに集う子供たちが、本校の子供たちもそうであってほしいように、明るく意欲的に学校生活を送ることは地域の願いでもあると考えます。5年生の子供たちとの交流を通して、支援学校の子供たちが、「かわいあい」を大切に、学校生活に潤いを感じるのであれば、その子供たちにとっても意義のある時間であると言えます。

学校と地域は、決して「Give & Take」（貸し借り）の関係ではありません。「地域の支援を受けたから学校が地域の行事に参加する」ということではなく、学校と地域には、人材育成において、目標を共有し連携、協働していくことが求められています。今回、5年生の子供たちが、もう一つの地域の学校に果たした役割は、地域の願いに値するものであり、地域への貢献という視点でとらえても意義のあることと考えます。

◇ 豊南小盆踊り大会 開催! ◇

7月27日(土)、PTA主催「豊南小盆踊り大会」が開催されました。ブラスバンド部の演奏や陽北中の生徒さんによる「よさこい」も大会を大いに盛り上げ、突然の雨により体育館へ避難する事態とはなりましたが、来場した子供たちは、踊りや買い物、大抽選会に至るまで、友達と過ごす時間を十分に楽しんだようです。

開催に当たっては、PTA 執行部の皆様をはじめ、各委員会の皆様が話し合いを重ね、ご多用のところにもかかわらず、暑い中、準備に尽力してくださいました。心より感謝申し上げます。また、厳しくも愛情たっぷりに子供たちを指導してくださった「お囃子会」の皆様、ありがとうございました。汗びっしょりになって練習に取り組む子供たちには、連帯感が生まれ、仲間とともに頑張ることにやりがいを感じ、協働して創造することの楽しさを味わっていたように思います。

伝統ある「豊南小盆踊り大会」が、コロナ禍を乗り越え、脈々と受け継がれていくことを予感させる保護者・地域の力の大きさを感じています。

